

# 武蔵野倶楽部 漫遊フォト日記

## 玉川上水を歩く 第1回

### 羽村から拝島まで

2020年（令和2年）10月6日（火）

江戸時代前期の承応3年（1654年）に完成し、その後の江戸、東京の発展の礎となった玉川上水。羽村から三鷹までを4回に分けて歩きます。去る10月6日に実施した第1回（羽村～拝島）の様子をまとめましたのでご覧ください。

なお、**第2回（拝島～鷹の台）は11月10日（火）に実施**します。参加お申し込みはBOB会事務局にお願いします。



玉川上水を創設した玉川庄右衛門、清右衛門兄弟の像。  
ここでクイズです。どちらが兄の庄右衛門？





今回の参加者は総勢 27 名。和気あいあいの楽しいグループでした。



散策の始まりは、羽村駅近くの『まいまいず井戸』。すり鉢状の底に井戸がありました。  
ここでクイズ。「まいまいず」とは何？





まいまいず井戸に隣接する熊野神社（現在・五ノ神社）



散策路にあった『馬の水飲み場跡』



多摩川を渡りました。秋らしい空でした。





ひと休み、ひと休み。久しぶりの散策でちょっと疲れたあ。  
(羽村市郷土博物館にて)



旅の安全を祈願しました。



江戸時代末期の農家、旧下田家住宅。  
マスク姿が、いつの日か懐かしい思い出になることを願っています。





多摩川から玉川上水に水を取り入れる羽村の堰。玉川上水の出発点です。



皆さん、水の流れの速さに見入っていました。





途中立ち寄った田村酒造（嘉泉という銘酒の蔵元）。  
お二人の話題は、Go To Travel キャンペーンのことでした。



彼岸花が咲き乱れていました。別名は曼珠沙華。山口百恵さんの歌を思い出しました。





みずくらいど公園。なんとも奇妙な名前です。  
ここでまたクイズ。『みずくらいど』の名前の由来は？



昼食は『幸楽園』にて。散策の疲れも吹き飛んで、皆さんいい顔をしていますね。

では、次回（第2回：11/10）にまたお目にかかりましょう。

クイズの答え： ①向かって右側の立ち姿の方が兄庄右衛門さん。②「まいまいず」とはカタツムリのこと。③「みずくらいど」とは漢字で水喰土。この付近で水が地中に吸い込まれたとのこと。